

CONTENTS



CHAPTER I

BRUSHING/PERIO/MAINTENANCE

- 14 001 歯肉縁下マージンは弱い上皮性付着との戦い、
途中気を抜いた 24 年症例
- 16 002 ブラッシング圧を気にしなかった患者の 11 年目の改善
- 18 003 歯肉縁下のマージンは滑沢か？
- 20 004 22 年間リコール皆勤、几帳面な患者
～修復処置がなければ長期安定～
- 22 005 20 年前の補綴処置後、必ずリコールに来る患者の
7)の遠心マージン
- 24 006 日独対決のつもりで装着したメタルセラミックス、
25 年後ドロー
- 26 007 25 年間必ずリコールに来る患者
- 28 008 小帯切除はしたものの、再発により退縮
～ 32 本の歯を 23 年間メンテナンス～
- 30 009 来院から 26 年、いまだ抜歯なしで残存歯 32 本
- 32 010 勤務医のパーフォレーションに激昂した筆者、ある意味反省
- 34 011 初診時「6719」、現在「9017」。22 年間で 2 本抜歯、
主な処置はオベイトポンティック、そしてインプラント補綴
- 36 012 ガムバイトを防ぐため、前歯舌面にレッジを付与して約 20 年
- 40 013 再補綴は正しかったのか、コーヌスは無駄だったのか
- 42 014 ブラッシング圧の強い患者は難しい
- 44 015 歯肉退縮で別の術式による再度の手術とその予後
- 46 016 材料の違いはあったのか 検証 1
- 48 017 ブラックマージンはブラッシングで消えない
- 50 018 材料の違いはあったのか 検証 2



CHAPTER 2

IMPLANT

- 54 019 18年経過したIMZインプラント
- 56 020 13年経過をみた下歯槽管側方移動術
- 58 021 クロスアーチスプリントの約13年後
- 60 022 メタルセラミックスが18年経過でインプラントとなった
- 64 023 サイナスリフト時に天然歯を含む上顎左側部全体の垂直方向の骨造成を図ってはみたものの……
- 68 024 インプラントリカバリー、同じ骨幅では天然歯よりインプラントの歯肉退縮が顕著である
- 72 025 緩衝機構を有するインプラントの22年後
- 74 026 忘れたころにやってくる
～上部構造装着から12年後の来院～
- 76 027 1994年に行ったサイナスリフトのその後
- 78 028 歯肉退縮は天然歯よりインプラント周囲で起こる
～18年の観察より～
- 82 029 オベイトポンティックを応用したブリッジとインプラントの咬合
- 84 030 自院のポンティック破折にインプラントで対応
～果たして正解だったのか？～
- 86 031 Palacciのインプラント間乳頭再生手術を試みてはみたものの……
- 90 032 約20年前に筆者が技工作製したボーンアンカードブリッジ、いまなお健在
- 94 033 骨補填材なしでメンブレンのみを用いてGBRを行った症例の16年後
- 96 034 すれ違い咬合による骨欠損をインプラント埋入時に垂直的に造骨した予後15年
- 100 035 臼歯部中間欠損、インプラントか？ブリッジか？
- 102 036 2001年にフラップレス埋入を行った患者の予後
- 104 037 上顎連続インプラントの予後と下顎前歯部のストリッピング
- 108 038 切歯乳頭によりインプラント間乳頭が再建された症例
- 110 039 インプラント第1号患者



CHAPTER 3

DENTURE

- 114 040 側方離脱に弱いマグネットと側方力に抵抗するコーヌスとの12年のコラボレーション
- 116 041 マージンはブラックだが、約22年使用しているデンチャー
- 118 042 多少無理の利くマグネットデンチャーの約12年後
- 120 043 24年経過したテレスコープブリッジ
- 122 044 15年で硬質レジン歯が極度に咬耗したコーヌス義歯
～今後のタクティクスは？～
- 124 045 来院が途絶えた5年間に心筋梗塞と脳梗塞を発症するも、食事はできていた



CHAPTER 4

TOOTH TRANSPLANTATION/REPLANTATION

- 128 046 2にはオベイトポンティック、
抜去歯は再植14年後にメタルセラミックスに
- 130 047 Hopeless tooth 再植後10年以上経過、歯根膜再生を認める
- 132 048 移植から約21年、移植歯の圧下と対合歯の挺出を認める
- 134 049 移植から15年、いまだ不安がある症例
- 136 050 再植が失敗した症例



CHAPTER 5

ORTHODONTICS

- 140 051 矯正後、21の審美修復を行った20年後の切縁位置
- 142 052 歯根分割による根分岐部の骨再生
- 144 053 7mmのクリーピングと自作メタルセラミックスの30年後
- 148 054 矯正歯科治療後の補綴で連結を行ったが、後戻りが認められた症例

- 150 055 SDA (shortened dental arch) における臼歯部での
インプラント補綴とオベイトポンティックの咬合、その 17 年後
- 154 056 MTM 後の保定不備、そしてレッドバンドいままお健在
- 156 057 修復歯以外のバージンティースにこだわりすぎて失敗
- 158 058 アングルⅠ級叢生患者を矯正歯科治療後に補綴した症例



CHAPTER 6

ROOT FRACTURE/TOOTH FRACTURE

- 164 059 歯根破折から 14 年経過し、現在も機能しているクラウン
- 166 060 治療後に顎位が大きく変わったと思われる症例
- 168 061 歯根破折歯のオールセラミッククラウンがマージン露出
- 172 062 破折の観察から顎位が変化したと思われる症例
- 176 063 ブリッジの中間支台の歯根破折から 10 年以上維持している
21 年経過症例
- 180 064 24 年経過した 2 本のクラウン、
1 本には歯根破折が……
- 182 065 キュレタージは正解だったのだろうか？
歯根破折歯を維持できるのだろうか？
～2つのトラブル～
- 186 066 オールセラミックスからメタルセラミックスへ
- 188 067 歯根破折後約 7 年維持しているブリッジ、
トータル 20 年以上経過
- 190 068 初診時 7 本の歯にキュラーアンカーを含む、
しっかりしたポストが装着されていた。
20 年経過、半数に歯根破折が起こった
- 194 069 ソケットリフトを試みた 17 年経過症例
- 196 070 術後 9 年目のポーセレン破折、
メタルフレーム再利用で 24 年経過
- 198 071 ホープレスディアグノーシス、それでも保存を希望
- 202 072 前歯は自費で、臼歯は保険の範囲内で。その 23 年後



CHAPTER 7

PROSTHETIC TREATMENT

- 206 073 S-shape profile は 23 年後でも安定していた
- 208 074 14 年の観察で、厚めの歯槽骨はクリーピングを
生じやすいことを確認
- 210 075 意図的オーバーカントゥアでシンメトリー確保後 16 年 6 ヶ月
- 212 076 咬合力の強い歯科技工士に細くて長いコアを応用し、
連結した症例
- 214 077 開業当初の補綴治療患者が
13 年ブラックマージンにならず再来院
- 216 078 20 年前はすべてが保険のクラウン、
徐々に自費のクラウンへと換えた
～ 5128 から 7628 へ～
- 218 079 オベイトポンティックには敷石効果のアパタイト
- 220 080 材料の違いは咬合に影響するか？
- 222 081 歯科技工士の勘違いにより、
左右の対称性が得られなかった症例
- 224 082 あえてアンテリアガイダンスを付与しなかった症例
- 228 083 中等度歯周炎患者の補綴治療による骨の再生
～ルートプレーニングを行わないと、骨は再生する～
- 230 084 初診時ほとんどの歯が修復されていた患者の 23 年後
～バージンティースはそのまま維持～
- 234 085 失った歯間乳頭の再生～クレームの多い患者からの経験～
- 236 086 舌癖のあるオープンバイトはそのまま
- 238 087 “Free gingival groove” は遊離歯肉溝ではなく、
遊離歯肉グループと訳すべきか？
～7|7の観察から～
- 240 088 印象後に歯が浮けば、トライ時にクラウンは高くなる
- 242 089 歯肉縁下マージン修復物は天然歯より強いのか？
- 244 090 21 年前に連続抜去法を行った患者（兄）
- 246 091 20 年前に連続抜去法を行った患者（弟）
- 248 092 歯頸部を揃える歯肉歯冠側移動後、移植弁が壊死

- 250 093 上顎犬歯にポーセレン冠を入れると、
対合犬歯が極度に摩耗する？
- 252 094 12年ぶりに来院したフルマウス患者は
歯髄炎でレーザーエンド（ナメタメソッド）
- 256 095 中途半端な診断が、その後を難しくした症例
- 260 096 治療時期の異なる中切歯の補綴
- 262 097 咬耗の強いフルバランス咬合における前歯部治療の一知見
- 264 098 アボリジニのようなフルバランス咬合は治療を困難にさせる？
- 266 099 それでも咬合高径は上げない。
そして硬質レジンでの歯肉の反応は？
- 268 100 補綴から約 20 年後の再来院、そして補綴物脱離

COLUMN

- 39 なぜ歯周外科後に歯肉は下がるか？ その弊害は？
- 67 ブラッシング指導で重要なのは、簡単な約束事であること①
- 71 ブラッシング指導で重要なのは、簡単な約束事であること②
- 89 再発のない歯内療法と Nd:YAG ナメタメソッド
- 93 本当の治療は術後から始まる
- 147 補綴治療の長期症例って何年から？～患者目線から～
- 153 補綴してこそその難しさ
- 171 歯根破折は、なぜもたない？
- 179 補綴治療の難易度を見極める
- 185 抜歯基準は誰が決める？～負けていないか、歯科界～
- 233 メンテナンスと自費治療と保険治療

ARCHIVE

- 270 本書中の全 100 症例の Archive とその平均値